

市長記者会見記録

日時：2022年9月5日（月）14時00分～14時19分

場所：第3庁舎18階 講堂

議題：市政一般

<内容>

<市政一般>

【司会】 ただいまより定例市長記者会見を始めます。本日の議題は市政一般となっております。それでは、早速質疑に入らせていただきますが、進行につきましては、幹事社様、よろしくお願いいたします。

<安倍元首相の国葬に伴う本市の対応について>

【読売（幹事社）】 読売です。市長さん、どうもお疲れさまでございます。前回、安倍元首相の国葬についてまだ何もということでしたけれど、近づきましたが、その後、いかがでしょうか。

【市長】 まだ案内自体も届いていないという状況に全く変わりはありませんで、この前申し上げたとおり、何かありまして、私どもの判断というのがありましたら情報提供させていただきたいと思っています。

【読売（幹事社）】 御案内が来たら、基本的には御出席の方向でしょうか。

【市長】 そうですね。そういうふうにかえたいとは思っていますけれども、どういう形でどういう形式なのかということも分かっておりませんので、最終的な判断はどうなるか分かりませんが。

<小児医療費助成制度の拡充について>

【読売（幹事社）】 もう1点、小児医療費の拡充の件ですが、拡充の方向を打ち出されましたけれども、もう一歩具体的なところ、ここをこうするんだみたいなことがもしあれば、お聞かせください。

【市長】 まさに拡充の表明はいたしましたけれども、詳細については、今、担当局とも、担当局というか、関係局と調整をしているところでございまして、もうしばらくお時間をいただきたいと思います。

【読売（幹事社）】 ありがとうございます。

私、ひとまず以上で。

<旧統一教会や関連団体からの寄附等について>

【読売（幹事社）】 同じく読売新聞です。旧統一教会の関係でお尋ねします。以前、

会見で、市長と旧統一教会の関係あるやなしやというのが話題に上がりましたが、今度は市への旧統一教会からの寄附であったりとか、あとは逆に、市が旧統一教会関連の事業に助成金を出した事実はないか、危機管理上ということもあって、全庁調査のお考えはありますでしょうか。

【市長】 全庁調査をこの団体に特定してという形で行う予定はありませんけれども、そういうお問合せがありましたら、調べることはしたいと思っています。

【読売(幹事社)】 相模原市とかも調べて発表したりとかされているんですけども、あえてなさないのはどうしてでしょうか。

【市長】 非常にこの対応は慎重にしくちゃいけないと思っています、今、報道だとか市民の皆さんも、旧統一教会の団体に対していろんな報道もなされているし、不安を持っておられる方もあると承知していますが、一方で宗教法人ということもありますし、こういうふうに報道されているからということでもって、AとかBとかという特定の団体を一気に調査しますということは非常に慎重に対応しなくちゃいけないなと思っていますので、例えば、こういった事実がありますかということや報道機関の方から問い合わせられてとかという、あるいは情報公開だとかということになればしっかりお答えすることになると思いますが、行政側からして、こういううわさが立っているとかということだけでもって、全てのを調査していくとかということは慎重にならざるを得ないなと思っています。それは宗教法人だけではないですけども、いろんな団体の方、あるいはいろんな個人の方がいらっしゃいますが、そういうふうなうわさがある、そういう報道があるということでもって全て調査していくというのは非常に慎重に考えなければならないと、今の現時点ではそう思っています。

この団体が不法行為をしているとかということで、私どもがそれを認定できるような材料がないものですから、今後、国のほうでどうなっていくかというのを注視はしていきたいとは思いますが、そういう状況を見て判断していきたいと思っています。

【読売(幹事社)】 ありがとうございます。

【読売(幹事社)】 幹事社、以上です。

【東京】 関連になるかと思うんですけども、先日、共産党市議団から、音楽のまち推進協議会のほうで、旧統一教会の関係団体が主催しているコンサートに、長年とか、数年間後援をしていたということに対して調査を求める申入れがあったと思うんですけども、今年もそのコンサートに対して現時点で後援をされていると思うんですけども、協議会としては、後援の取消しなどについては市と協議してという

ことを取材には答えていただいたんですけども、市長としては、今年、これから行われるコンサートへの後援についてはどのように考えられるのでしょうか。音まちの顧問でもいらっしゃると思うので。

【市長】 基本的には、私、顧問という立場なので、運営のことについてあだこうだというふうな、これ、不適切だと思います。この団体がどうなのかというふうな、このことに後援するべきでないとか、するべきだとかというのを、ある意味、市長という立場を使って、あるいは顧問という立場を使って言うこと自体がそれもちょっと問題があるのではないかなと思っています。ですから、基本的には協議会の中でどう捉えられるのかを判断していただくのが適切だと私は思っています。

【東京】 ありがとうございます。

【朝日】 朝日新聞でございます。統一教会の関連なんですけれども、旧統一教会や関連団体から川崎市や川崎市教委に対して寄附はございましたかという質問なんですけど。

【市長】 川崎市に対しては寄附はないということ……、どうだったかな。ちょっと事務方から、すいません。

【総務企画局】 秘書課でございます。寄附に関しての調査はしていなかったと思います。秘書課に対してのというところでは確認しましたが、全体的なというのは確認しておりません。

【朝日】 できれば確認していただきたいところなんですけど、あと、旧統一教会や関連団体のイベントに川崎市や川崎市教委が後援を出したケースはありましたかという質問なんですけど。

【市長】 恐らくそれも調べてないんじゃないかと思いますがけれども。寄附については、これは調べたいと思います。寄附があったかなかったのかというのは調べても特に問題ないと思いますので、それは調べさせていただいて、お答えさせていただきたいと思います。

【朝日】 市や市教委が直接、統一教会や関連団体のイベントに後援を出したケースはありましたかという質問なんですけど。

【市長】 それは調べてないと思いますがけれども、どこまでこれ……、先ほどお答えしたように、一律的に調べていくのが正しいのかは検討させていただきたいと思います。恐らく宗教法人というところからは様々な形で、例えば区が受けていたり市が受けていたりイベントで受けていたりというのは結構あると思います。それは私も、ぱっと思い浮かぶだけでもあります。例えば川崎市内のある有名な寺院だとか、そうい

ったところからイベントだとか御寄附をいただいたりすることは結構あるんじゃないかと思います。そこをあえて調べて、この人たちから寄附を受けていますとかということをお知らせすることはいいですけども、今、当該の団体が問題になっていることでは、寄附については調べさせていただきたいと思います。

【朝日】 あと、他の自治体ですと、過去にイベントの後援を出していたことが発覚した場合、過去に遡って後援を取り消すケースも短い記事にはなっているので、もし確認できれば、後援の有無と、その後援をどうするかというのをプレスリリースなどで教えていただきたいなと思いました。

【市長】 対応については検討させていただきたいと思います。

どうぞ。

《小児医療費助成制度の拡充について》

【t v k】 t v kです。幹事社様からも先ほどありましたけど、小児医療費の助成制度の拡充の件について、市長といたしましては、引き続き国の責任において制度の構築をしていくかどうか、また、市独自でやっていくかというところの考えについて、もう一度御意見を伺えればなと思うんですけど。

【市長】 これはずっと主張し続けていることですが、子どもの医療費の在り方はどうあるべきなのかというのは、各自治体によって違うものではなくて、全国一律で統一されるべきものだと思いますし、それに対する国の財政的な措置はどうあるべきなのかとも併せて行われるべきものだと思います。ただ、そうは言っても、昨今の近隣他都市の事情なども含めて、現状の川崎市と比べた場合に、いろんな差異が出てくることもありますので、著しい差異になってしまっただけではないという思いもございます。そういったところから拡充を表明したわけでありまして、自治体でやっていくことと国にしっかりとした措置を求めていくことは両立していくことだと思いますから、これからも自治体として、拡充を図ったとしても、この訴えを変えていくつもりは毛頭ありませんし、引き続きしっかりと訴えていきたいと思っております。

【t v k】 ありがとうございます。

《家庭教育支援法・条例について》

【東京】 旧統一教会系の団体が川崎市議に対して、2018年に家庭教育支援法の制定を求める意見書案の提出を働きかけていて、それが実際川崎では陳情などを経ずに、議員からの働きかけでも可決して、国に出したということが明らかになりましたけれども、そのような動きが背景にあったことに対する受け止めをお聞かせいただ

けますでしょうか。

【市長】 これって一般論でお答えしていいですか。

【東京】 はい。

【市長】 というのは、各種いろんな団体から意見書みたいなのを、こういう政策を望むんだという声を議会が受けて、成立に向けて働くというのは、これは普通に一般的にある話だと思います。要望団体がどういうところなのかということは、それぞれ今回、こういう課題になってきておりますので、どう判断されるかというのはそれぞれ意見があるかと思えますけれども、一般論としては普通のプロセスだろうと思えます。普通のプロセスって言っちゃうと、特定の方に対する何の意識もないのと思われちゃうかもしれませんけれども、そこだけをクローズアップすると、いろんなものが一緒くたになっちゃって、おかしな議論になりませんかというのは、僕、この問題で常に大丈夫かなと思っているところなんです。

【東京】 家庭教育支援法自体は、野党から公権力の家庭教育への介入を招くという批判もあって、現時点で法制化には至ってないと思うんですけども、一方で、川崎市議の中には家庭教育支援条例の制定を目指すことを公約に掲げている方もいらっしゃって、市長として、家庭教育支援条例みたいなものを条例化したほうがいいと思われるかどうかという部分についてはいかがでしょうか。

【市長】 それは何というか、この話って切り離れているんでしょうか。いわゆる旧統一教会系の話と政策議論の話って、今、これ、分かれていますか？

【東京】 政策として。

【市長】 私の個人的な考え方で言うと、私の考え方とは相容れないとは思いますが。

【東京】 家庭教育支援を条例とか法として定めるのはちょっと違和感があるという……。

【市長】 私からすると違和感はあります。

【東京】 ありがとうございます。

【市長】 ただ、今回の話って、今の質問の流れで聞くと、切り取られちゃうとおかしくなりませんかというのを大変危惧しております。

【東京】 分かります。

【市長】 そこは十分にお気をつけいただきたいと思えますし、報道なんかでも、先ほども御紙の報道でも出ておりましたけれども、冒頭に「福田紀彦川崎市長が顧問を務める市民団体の」という話で音まちの話が出ておりましたけれども、あたかも私が判断しているかのような、普通に読むとそうだよなと思って、僕見ちゃうんですけど、

ちゃんと切り分けて報道していただかないと市民に誤解を与えることになってしまいますので、ぜひそこは御注意をいただきたいと思います。

【東京】 はい。検討させていただきます。

《安倍元首相の国葬に伴う本市の対応について》

【朝日】 朝日新聞です。国葬の御対応なんですけれども、前回、安倍元首相の死去を受けて、市の庁舎では半旗の掲揚をされたんですけれども、あと、市の学校施設も半旗掲揚をされましたけれども、今回についてはまだ結論が出ていないということですか。

【市長】 まず、今回の国葬で弔意を示すことを、自治体だとか教育機関に求めないことは発表されているということですよ。そういう対応になるのかなとは思っていますけれども。まだ最終的に……。できれば、国葬の前に川崎市としてのしっかりとしたルールづくりの話、この前から申し上げておりますけれども、ルールづくりをしっかりと示した上で判断をしたいとは思っています。

【朝日】 分かりました。

【市長】 それは国葬の前にです。ということは今、それに向けて協議をしているところでございます。

どうぞ。

【神奈川】 今のルールづくりの話なんですけれども、まだ作業中だということだと思えますけれども、市長としてのお考えは現場には伝えていらっしゃるのでしょうか、どういう方向でということ。

【市長】 話合いはしております。話合いというか、そんなに複雑に何ルートもある話ではないので、話の整理はしています。他自治体の考え方というか、今どうなっているのかということも調べてもらって共有しておりますし、その上でどう判断すべきかというのを、今、複数回にわたって協議をしているところです。

【神奈川】 ある程度方向性は定まっているのでしょうか。

【市長】 今、議論の過程でありますので、こっちの方向性とかというのは控えさせていただきたいと思います。

【神奈川】 分かりました。ありがとうございます。

【司会】 ほかに御質問……。

《小児医療費助成制度の拡充について》

【朝日】 小児医療費の助成についてなんですけれども、東京都の23区は、たしか来年度から高校生の無料化に踏み切ることが先般発表されまして、それについて御感

想があれば。大田区も入ります。

【市長】 多摩川を挟んで隣の都市ですので、近隣都市としては非常に大きなインパクトがあることは間違いありませんし、今回、拡充という表明に至った一つの要素であることは間違いありません。

【朝日】 ありがとうございます。

【司会】 ほかに御質問ございますでしょうか。

《旧統一教会や関連団体からの寄附等について》

【読売（幹事社）】 それでは、統一教会につきましては、もしこの場でまとめられたらまとめて、こういうところを回答してくれというのを、報道を通じてそちらへ投げたいと思いますので、御対応方よろしくお願いいたします。

【市長】 分かりました。

【司会】 それでは、よろしいですか。

では、以上をもちまして市長記者会見を終了いたします。ありがとうございました。

(以上)

・この記録は、重複した言葉づかい、明らかな言い直しや質問項目などを整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当

電話番号：044(200)0312